

安全の為に必ずお守りください。

警告

- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。その際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。またボルトやナット等が緩んだり、破損しますと突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。調整が正しくない場合、チェーン外れ等の発生により、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- 取扱説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

使用上の注意

- 円滑な操作のため、指定ケーブル及びケーブルガイドをご使用ください。
- インナーケーブルとアウターケーブルの摺動部分が、グリス潤滑された状態で使用してください。
- インナーケーブル内蔵フレームは、ワイヤー効率が悪くSISが働かにくいため、ご使用できません。
- 変速に関係するすべてのレバー操作は、必ずフロントチェーンホイールを回しながら行ってください。
- アウターケーブルはハンドルを一杯に操舵しても余裕がある長さのものをご使用ください。また、ハンドルを一杯に操舵した時に変速レバーがフレームに接触しないことを合わせて確認してください。
- 変速ケーブルには専用グリスを使用しています。DURA-ACE グリスや他のグリスを使用すると変速機能が低下します。
- インジケーター部及びシフティングレバーユニットの分解はしないでください。故障の原因となります。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗及び品質の劣化は保証いたしません。
- 取扱方法及びメンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。

ご使用方法

SI-6UR0A-001

SL-R780 / SL-R783
SL-4600 / SL-4603

シフティングレバー

機能を十分に発揮させるために、次のラインナップによる使用を推奨いたします。

シフティングレバー	フロント	SL-R780	SL-4600
	リア		
アウターケーブル	OT-SP41		
スピード	20		
フロントディレイラー		FD-6700 / FD-5700	FD-4600
フロントチェーンホイール		FC-6700 / FC-6750 FC-5700 / FC-5750	FC-4600 / FC-4650
リアディレイラー		RD-6700 / RD-5700	RD-4600
フリーハブ		FH-6700 / FH-5700	FH-4600
カセットスプロケット		CS-6700 / CS-5700	CS-4600
チェーン		CN-6701 / CN-5701	CN-4601
ケーブルガイド	SM-SP17		

シフティングレバー	フロント	SL-R783	SL-4603
	リア	SL-R780	SL-4600
アウターケーブル	OT-SP41		
スピード	30		
フロントディレイラー		FD-6703 / FD-5703	FD-4603
フロントチェーンホイール		FC-6703 / FC-5703	FC-4603
リアディレイラー		RD-6700 / RD-5700	RD-4600
フリーハブ		FH-6700 / FH-5700	FH-4600
カセットスプロケット		CS-6700 / CS-5700	CS-4600
チェーン		CN-6600 / CN-5600	CN-5600
ケーブルガイド	SM-SP17		

* 取扱説明書は以下にてご覧いただけます。
<http://techdocs.shimano.com>

製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口

☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社シマノ

堺市堺区松岩町3丁77番地 〒590-8577

レバー部の取付け

ハンドルグリップは最大外径がφ32mm (SL-R780) /
φ36mm (SL-4600) 以下のものをご使用ください。

- ブレーキ操作と変速操作に支障をきたさない位置に取付けてください。
- ブレーキ操作に支障をきたす場合は組合わせ使用しないでください。

ご注意：

推奨締付けトルクにおいても、カーボンフレーム(ハンドル)の場合には、フレーム(ハンドル)への損傷ならびに固定不十分となる可能性があります。適切なトルク値に関しては、完成車メーカーまたはフレーム(ハンドル)メーカーでご確認ください。

変速操作方法

解除レバーを押しても引いても解除操作ができる2-ウェイリリース機構が備わったレバーです。レバーA、Bとも変速完了後、指を離すと必ずレバー初期位置に戻るようになっています。レバー操作する時は必ずクランクを廻しながら行って下さい。

<フロント側>

小ギアから大ギア方向への変速 (レバーA)

1回の操作で小ギアから大ギア方向へ一段変速します。

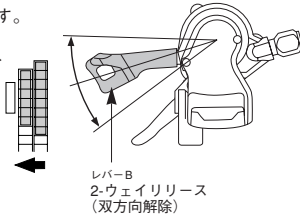
例: 中間ギアから最大ギアへ



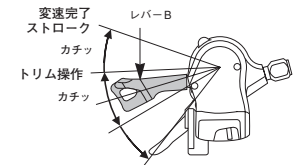
大ギアから小ギア方向への変速 (レバーB)

1回の操作で大ギアから小ギア方向へ一段変速します。

例: 最大ギアから中間ギアへ

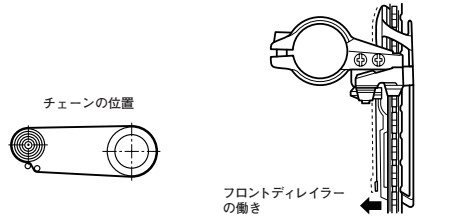


レバーBを操作すると、まずトリム操作あたりがカチッとあり、次のあたりが変速完了ストロークとなります。トリム操作後はトリム操作のあたりはなくなり、変速完了ストロークのあたりのみとなります。



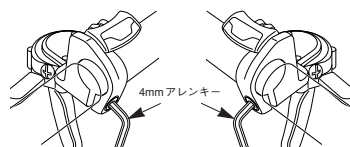
トリム操作 (音鳴り操作機構)

チェーンポジションがフロント大ギア、リア大ギアでフロントディレイラー内プレートとチェーンが接触し、音鳴りが発生した場合に行います。レバーBを軽く押す(カチッとあたりがある)とフロントディレイラーがわずかに小ギア方向へ移動し、音鳴りが解消されます。



この取扱説明書は、ご購入された自転車に装着されているシマノ製自転車部品の取扱い方法を説明しています。ご購入された自転車およびシマノ製自転車部品以外に関する質問はご購入先または自転車製造元へのお問い合わせをお勧めいたします。

<フロント側> <リア側>



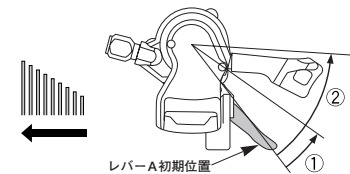
締め付けトルク:
3 N・m [30 kgf・cm]

<リア側>

一度の解除操作で2段変速が可能になったマルチリリース機能が備わっています。(SL-R780のみ)

小ギアから大ギアへの変速 (レバーA)

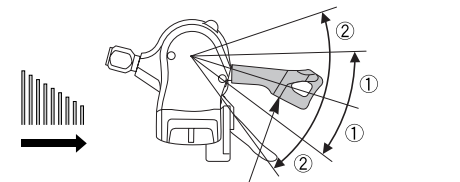
1段分だけ変速する場合は①の位置まで操作し、2段分変速する場合は②の位置まで操作するという具合に、変速したい段数分のストロークを操作します。最大2段分の一気変速まで可能です。



大ギアから小ギアへの変速 (レバーB)

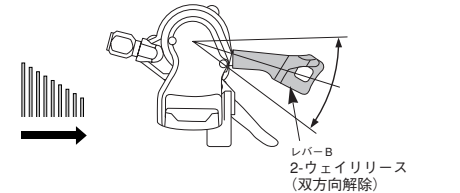
<SL-R780>

1段分だけ変速する場合は①の位置まで操作し、2段分変速する場合は②の位置まで操作するという具合に、変速したい段数分のストロークを操作します。最大2段分の一気変速まで可能です。



<SL-4600>

1回操作して離すと、大ギアから小ギアへ1段変速します。



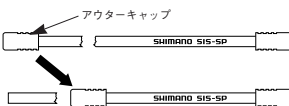
シフティングケーブルの取付け

アウターケーブルの切断

アウターケーブルを切断する場合には刻印の反対側を切断してください。切断後の端面は、外側を真円に戻し、穴の内側を整えてください。



アウターケーブルキャップは、切断後も同一物を使用してください。



インナーケーブルの取付け

1. レバーBを9回以上操作してトップにセットします。(フロント側: レバーBを2回以上操作してローにセットします)
2. インジケーター指針が左端にあることを確認します。(フロント側: 右端にあることを確認)
3. インナータイコ穴キャップを取り外し、ケーブルを取り付けます。

インナータイコ穴キャップを図のように止まるまでまわして、取付けてください。これ以上まわすと、キャップのネジみぞを破損します。

インジケーター部の交換と組立

分解および組み立ては、インジケーターユニットの交換時にのみ行ってください。

<分解>

1. インジケーター固定ネジを2本を外します。
2. インジケーターユニットを図のように時計方向へ回転させ、上を外します。(フロント側: 反時計方向へ回転)

<組立>

1. レバーBを9回以上操作してトップにセットします。(フロント側: レバーBを2回以上操作してローにセットします)
2. インジケーター指針が左端にあることを確認します。(フロント側: 右端にあることを確認)
3. インジケーター下のピンを巻き取り体の穴に差し込み、インジケーターユニットの突起部(2ヶ所)をシフティングレバーユニットの△印に合わせてはめ込みます。
4. 図のようにインジケーターユニットを反時計方向に回転させ、セットします。(フロント側: 時計方向に回転)
5. インジケーター固定ネジ2本で固定します。

締め付けトルク:
0.14 N・m [1.5 kgf・cm]

6. 作動を確認してください。正しく作動しない場合は手順1、2、3に注意して再度組み立ててください。

シフティングレバーユニットの交換と組立

分解及び組立は、ユニット部の交換時のみに行ってください。

シフティングレバーユニット取付ネジ (小)

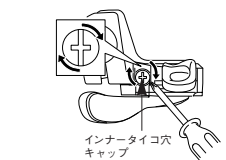
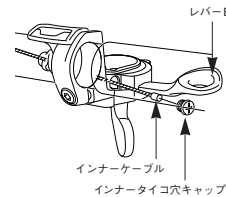
締め付けトルク:
0.08 N・m [0.8 kgf・cm]

シフティングレバーユニット取付ネジ (大)

締め付けトルク:
0.14 N・m [1.5 kgf・cm]

1. フロントディレイラーまたはリアディレイラーのケーブル固定ボルト(ナット)を緩め、インナーケーブルを取付け時と同じ要領でシフティングレバーユニットから抜き取ります。
2. 「インジケーターユニットの交換と組立」の分解手順に従いインジケーターユニットを取り外します。
3. シフティングレバーユニット取付ネジを4本ともはずし、図のようにシフティングレバーユニットを取り外します。
4. シフティングレバーユニットとブラケットの位置を合わせ、シフティングレバーユニット取付ネジ4本で固定します。
5. 「インジケーターユニットの交換と組立」の組立手順に従いインジケーターユニットを取付けます。

※ イラストはリア側レバーです。



※ イラストはリア側レバーです。

インジケーター固定ネジ

